

国見町総合計画審議会 第1回各専門部会議事要旨

第1回の各専門部会で出された意見等の抜粋。

【保健・福祉専門部会】

- 食・運動・交流が三本柱であり、10年前は生活習慣病予防や過剰栄養が課題であったが、現在は過剰栄養と欠乏フレイル問題へと大きく変わっているほか、交流が注目されている。
- 人口減少より、結婚世話やき人のイベントは参加人数が少ないため未実施に。結婚する人へ町からのバックアップがあれば人口減少も減るのではないかと考える。
- 地域住民から町に対しての意見も計画に記載してもらえるのであればいいと思う。
- 人口減少についてもしっかりと考えなくてはいけない現状だと思う。
- 全体印象として、スケールが大きい中で知恵を出しあってやるという意識だと負担が大きい。各分野・部門において、何かひとつでもアイディア・スパイスを加えることができれば。
- 人口減少のスピードを緩やかにするには、医療も重要となってくる。
- アンケート結果より、⑥障がい者自立支援については、満足度及び重要度もあまり高くないという印象。福祉においても食・運動・交流が大切だと思う。

【防災防犯・都市基盤・生活環境専門部会】

- 再生可能エネルギーを活用し、各家庭の光熱費削減などにつながれば人口減少に少しでも歯止めをかけられるのではないかと。
- 国見町の人口減少の現状を知り衝撃を受けた。国見町のように交通の便も良い地域で、このような状況になっているとは思わなかった。近隣市町村の施策を参考にしたい。
- 国見町には多くの課題が山積している。まちづくりに対して真剣に取り組まなくてはならない。人口減少を食い止め、魅力あるまちづくりの一助になれるよう勉強していきたい。
- 高齢者などが生活していくためには、交通の足は必要不可欠。このままでは町民同士のコミュニティも維持できなくなるのでは。

【子育て・義務教育・生涯学習専門部会】

- この部会の目的が、我々が住みやすい・素敵な町にするだけではなく、いかに人口減少を止める取組につながるかにあり、視点を少しシフトして臨みたい。
- KPI の評価軸がわかりにくいものがある(例：数値が増えるとよいのか、低いとよいのか)
- 各委員の専門性のある意見を求めるのであれば、資料を事前に送付してほしい。
- 町民の意見を求めるのであれば、町民のわかる言葉・用語で、町民目線の投げかけをしてほしい。KPI などのアルファベット用語は分かりづらい。
- 資料3のアンケート結果から、全体的に女性の満足度が高く、男性が低い傾向が全世代的に見られることが分かり、おもしろいと思う。ひとつのヒントになるのではないか。

【農林業・商工観光専門部会】

- 今回は1回目であり、事務局の説明にて国見町の厳しい現状を理解することができた。2回目の審議会では本日事務局より話のあった①就農人口の確保②企業誘致についてそれぞれの意見を交換できる機会にしたい。
- 農地や空き家の整備整理が進んでいないためか、ビジネス訓練所の卒業生が10人いれば8人は他市町村で就農している。
- シャッターが閉まっているところも多いため商店街が活性化できるように自分なりに考えていきたい。
- 人口減少は全国的な課題であり、仕方がないため、その中でどれだけ減少率を少なくしていくかを考えていくことが大切だと思う。

【行財政・協働・交流連携専門部会】

- 議論するテーマが「移住定住」と「ふるさと納税」に絞ってということだが、2つ以外の関連テーマについても意見を出したい。
- テーマの選定にあたって「重要度」が高く「満足度」が低いものからピックアップしたとのことだが、重要度の低いものについてはそもそも重要と認識していない可能性もあるのでは。行政と町民がそれぞれ重要と考えるテーマの2本立てではどうか。
- 町内会などの慣例行事を継承していくことがだんだんと難しくなっている。
- 重点テーマのふるさと納税については移住定住につながる政策として捉えてよいのか。
⇒ふるさと納税はあくまでも財源の確保としての手段であり、町民のみなさんに還元するためのものです。議論する内容としてはプロモーションの推進によりふるさと納税件数を増やす観点でお願いしたい。